

## 農政学特論 I (2単位)

担当者氏名 友田清彦

### ◆学習・教育目標

「農政学特論 I」では、わが国における農業政策の展開過程について検討する。わが国における農業政策は、明治初年における勸農政策として始まるが、本格的な農業政策体系の整備は、明治 30 年代における明治農政の確立をまたねばならない。本授業では、こうした明治農政の確立過程にはじまり、昭和戦後期における高度経済成長の時代に至る近現代農政の展開について、日本農業の展開過程との関連を重視しつつ検討を加え、農政展開のメカニズムを明らかにする。これによって、農業経済学系の学位（修士・博士）を取得するために最低限必要な知識の獲得を目指す。

### ◆取り扱う領域（キーワードで記載）

農政	農業政策	勸農政策	明治農政
農業団体	農事改良	社会政策	地主制

### ◆授業の進行等について

	テーマ	内容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	本講義の課題	・本講義のねらいと進め方	本授業のねらいは、日本における農政の展開過程についての基礎的な知識の獲得を主眼とするが、随時課す予定の課題やレポート作成を通じて、史料の検索・収集方法や解読技術の習得・習熟にも努める。予習・復習時間は各 2 時間。
2	江戸時代の勸農政策	・江戸幕府と諸藩の勸農政策	
3	明治初期の勸農政策	・近代黎明期の勸農政策、地租改正	
4	内務省期の勸農政策(第	・殖産興業政策、内務省勸業寮の創設と欧米農法直輸入的な勸農政策の展開、大久保農政とは何か、松方農政への転換	
5	4～6週)		
6	農商務省の創設から明	・農商務省の創設、在来農事改良重視への農政転換、明治農政の確立過程、系統農会と産業組合、耕地整理と水利・治水政策、サーベル農政の展開、町村是調査と地方改良運動	
8	治・大正期に至る農業政		
	策(第7～10週)		
	昭和戦前期の農業政策	・小作立法と自作農創設維持政策、恐慌期農政の展開、農山漁村経済更正運動と救農土木事業、満州農業移民と戦時農政	
	(第11～13週)		
	戦後農政の展開(第	・農地改革、食料政策、基本法農政への途、高度経済成長と日本農業衰退史	
	14・15週)		

### ◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）

日本の農業 150 年－1850～2000 年－/ 暉峻衆三編/有斐閣（2003）

### ◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）

特になし

### ◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

課題 50 点、レポート 30 点、授業中における討論への参加度など 20 点

### ◆オフィスアワー

毎週水曜日・木曜日の 12:10～13:00。オフィスアワーの時間帯でも校務のため研究室を不在にしている場合があるので注意すること。

### ◆その他受講上の注意事項

特になし